



沖縄ブロック新広域道路交通ビジョン

沖縄ブロック幹線道路協議会

2021年3月



4 目次

5	はじめに.....	1
6	第1章 沖縄地域の将来像.....	2
7	1-1 沖縄地域の概要.....	2
8	1-2 広域ネットワークの概要.....	10
9	1-3 関連計画.....	14
10	1-4 沖縄地域の広域的な道路交通の将来像.....	17
11	第2章 将来像の実現に向けた現状と課題.....	19
12	2-1 高い自動車分担率・交通の集中と慢性的な渋滞.....	19
13	2-2 国内外からの観光客の増加・観光客のレンタカー利用増加.....	22
14	2-3 産業活動は好調・貨物輸送の増加.....	25
15	2-4 地域振興に向けた米軍基地跡地の有効活用.....	28
16	2-5 沖縄における大規模地震発生の可能性.....	29
17	2-6 ICT等の活用.....	33
18	第3章 広域的な道路交通の基本方針.....	35
19	3-1 強くしなやかな自立型経済を支える広域的交通ネットワークを構築する.....	36
20	3-2 「世界水準の観光リゾート」にふさわしい魅力的な交通基盤を実現する.....	39
21	3-3 渋滞がないすべての人に優しいシームレスな交通体系を構築する.....	44
22	3-4 台風・地震に強く早期に機能復旧できる交通ネットワークを構築する.....	50
23	3-5 ICT等の先端技術を積極的に取り入れた戦略的マネジメントを発信する.....	53
24		

はじめに

2018年3月30日に成立、同月31日公布された「道路法等の一部を改正する法律」（平成30年法律第6号）により、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、国土交通大臣が物流上重要な道路輸送網を指定する「重要物流道路制度」が創設された。

重要物流道路（及び代替・補完路）の指定にあたっては、新たな国土構造の形成、グローバル化、国土強靱化等の新たな社会・経済の要請に応えるとともに、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化や ICT・自動運転等の技術の進展を見据えた、新たな広域道路ネットワークを幅広く検討した上で、効果的に指定する必要がある。

このため、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会物流小委員会の議を経て、重要物流道路制度を契機とした「新広域道路交通計画」を各地域において中長期的な観点から策定することとし、新たな広域道路ネットワークに関する検討会においてとりまとめられた「中間とりまとめ（2020年6月8日付け）」も踏まえ、地域の将来像を踏まえた広域的な道路交通の今後の方向性を定める「新広域道路交通ビジョン」（以下「ビジョン」という）を策定する。

沖縄地域のビジョンの策定にあたっては、沖縄21世紀ビジョン基本計画、沖縄県総合交通体系基本計画等の総合的なビジョンを参考に、地域の社会・経済の現状や開発計画等を踏まえた広域的な交通の課題や取り組みについて平常時・災害時及び物流・人流の観点から、目指すべき将来の姿を総合的に整理し、とりまとめた。

なお、このビジョンは、概ね20～30年を対象とした中長期的な視点で検討したものであり、沖縄地域をとりまく情勢や技術の発展とイノベーションがもたらす変化に対応するため、必要に応じて見直しを行うものとする。

2021年3月 沖縄ブロック幹線道路協議会